

Microsoft 365

ライセンス最適化

サービス資料

自動棚卸・ライセンス配布・未使用回収の一気通貫自動化

● コスト最適化

未使用ライセンスの自動回収で無駄ゼロ

● 工数 94% 削減

月次棚卸 8h → 0.5h に短縮

● ガバナンス強化

リアルタイム管理・自動通知・監査証跡

目次 / Agenda

01

エグゼクティブサマリー

課題の全体像と提案の価値

02

顕在化している課題

手動棚卸が引き起こすリスクと損失

03

自動化ソリューションの概要

Graph API × Power Automate の仕組み

04

導入効果・業務比較

手動 vs 自動化の定量比較

05

導入フェーズとスケジュール

4フェーズの標準展開計画

06

次のステップ

オンライン相談・個別見積のご案内

01 エグゼクティブサマリー

Microsoft 365 ライセンスの手動管理は、コスト・工数・リスクの三重苦を招きます。アドバンジは Power Automate と Microsoft Graph API を活用した一気通貫の自動化システムにより、これら全ての課題を解決します。



課題

90日以上未アクティブユーザーの把握に多大な工数。入カミス・集計誤りによるデータ信頼性の低下。手動棚卸が本来のコア業務を圧迫。



ソリューション

Entra ID × Graph API による自動集計。入社時自動割当・90日未アクティブ自動回収・申請ベース分配を実現。完全ノーコードで既存環境に統合。



導入効果

月次棚卸工数 8h → 0.5h（94%削減）。未使用ライセンス放置期間を平均4.5ヶ月 → 90日に短縮。データ精度100%向上。

入社時の自動割当 / 90日未アクティブの自動回収 / 申請ベース分配 を Power Automate で一気通貫実現

02 顕在化している課題

手動棚卸が生み出すコスト・リスク・非効率

① 工数の大量消費・長時間労働

担当者が1件ずつデータ確認・表作成。大量データの目視チェックで定時超えが常態化。月次棚卸 8時間/月の固定コスト。

② データ精度の低下・信頼性喪失

手動入力ミス・集計誤りが頻発。ライセンス状況のリアルタイム把握が困難。誤ったデータに基づく管理判断のリスク。

③ 未使用ライセンスの放置によるコストロス

90日以上未アクティブユーザーの特定・対応が平均3～6ヶ月遅延。その間ライセンス費用が継続発生し無駄なコストが蓄積。

④ ガバナンス・コンプライアンスリスク

ライセンス過剰・不足の把握遅れ。規約違反リスクの潜在的存在。退職者・休職者のライセンス削除漏れによるセキュリティリスク。

02 課題が引き起こす4つのリスク

手動棚卸を継続することで下記リスクが潜在的に存在します

コストロス



未使用ライセンスの放置により余分なコストが継続発生。
規模次第では年間数百万円の損失に。

コンプライアンス違反



ライセンス規約違反・過剰利用が発覚した場合、マイクロソフトからのペナルティリスクが存在。

管理判断の遅延



データ不備・リアルタイム把握不能により、経営判断・IT戦略立案に必要な正確な情報が得られない。

人的リソースの浪費



本来のコア業務に充てるべきIT担当者の時間が、反復的な棚卸作業に消費され続ける。

03 自動化ソリューションの概要

Power Automate × Microsoft Graph API による一気通貫自動化

システム連携により、ライセンス情報の収集・集計・整理・ユーザー通知・レポートまで全て自動実行します。既存のMicrosoft 365環境に追加費用なしで統合可能です。

入社フロー自動化



① 入社時 自動ライセンス割当

Entra IDへのユーザー追加を検知し、役職・部署に応じた適切なM365ライセンスを自動付与。IT担当者の手動作業をゼロに。

未使用回収自動化



② 90日未アクティブ 自動回収フロー

Graph APIでアクティビティを毎日監視。90日未使用ユーザーに自動メール通知し、返信なし・継続利用なしの場合にライセンスを自動回収。

申請フロー自動化



③ 申請ベース 自動分配

承認ワークフローと連携したオンデマンド分配。申請～承認～ライセンス付与まで全自動。申請から1～2日で完了（従来3～5日）。

03 未使用ライセンス自動回収フロー

Entra ID × Graph API × Power Automate による完全自動プロセス



返信なし・継続利用申請なし の場合は自動的にライセンスを回収 → 翌月から費用が発生しない仕組みを実現

04 導入効果・業務比較（手動 vs 自動化）

導入前後の定量的な改善効果

94%

棚卸工数削減

8h/月 → 0.5h/月

100%

データ精度向上

人的ミスをゼロに

90日

最大ライセンス放置期間

平均4.5ヶ月 → 90日

1～2日

申請～分配完了

従来3～5日が短縮

従来（手動）

導入後（自動化）

ライセンス分配処理時間

× 手動操作：平均 2～3日/件

✓ 自動化：数分/件

未使用ライセンスの放置

× 平均 3～6ヶ月放置

✓ 90日後に自動回収

申請～分配完了まで

× 手動確認：平均 3～5日

✓ 自動化：1～2日

月次棚卸の作業工数

× 手動集計：8時間/月

✓ 自動化：0.5時間/月

データ精度

× 誤りが発生しやすい・不安定

✓ 高精度・100%安定

運用負担

× 毎回高負担・属人化リスク

✓ 定期自動実行・負担なし

04 4つの導入メリット

データ精度 100% 向上



人的ミスを排除し、正確なライセンスデータを常時保持。監査対応・経営報告に即座に活用できる信頼性の高い情報基盤を確立。

工数を大幅削減



月次棚卸 8時間 → 0.5時間（94%削減）。担当者は反復作業から解放され、戦略的なIT業務に注力できる環境を実現。

コストを最適化



未使用ライセンスを90日以内に自動回収。ライセンスを適正運用し、無駄な費用を継続的に削減。導入コストを早期に回収可能。

リアルタイム管理



Graph API連携でライセンス保有状況を常時可視化。ダッシュボードによりいつでも現状確認が可能。迅速な意思決定をサポート。

05 導入フェーズとスケジュール

4フェーズの標準展開計画

Phase 1

環境調査・要件定義

- 現状の業務フロー・既存システムの整理
- データ連携経路・現行課題の整理
- 適用要件の定義・確認

IT部門 / アドバンジ

Phase 2

システム設定・連携テスト

- システムパラメータ・権限の設定
- データ連携の実装・テスト
- 全シナリオでの検証実施

IT部門 / アドバンジ

Phase 3

運用トレーニング

- 運用担当者向け座学講義
- 操作フロー・トラブルシューティング研修
- 日常保守・基本設定の習得

IT部門 / アドバンジ / 利用者

Phase 4

本番稼働・アフターフォロー

- システム本番リリース・業務稼働
- 日次定常監視・障害対応
- 改善レポートの定期提供

IT部門 / 利用者

各フェーズの期間・詳細スケジュールは御社環境に合わせて個別にご提示いたします

06 次のステップ

01

オンライン相談
のご案内

サービスの詳細や自動化の仕組みについて、
オンラインで個別にご説明いたします。

02

現状ヒアリング

ユーザー数・現在のライセンス構成・自動化
したい業務範囲をヒアリングいたします。

03

個別お見積書
のご提示

御社環境に最適化したシステム設計と、他
社比で大幅コスト削減となる見積をご提出
します。

詳細はお気軽にお問い合わせください

アドバンジ日本株式会社 | TEL 03-6908-6908 | sales@advange.co.jp